

JIS

A6 判マイクロフィッシュ

JIS Z 6001 : 2007

(JIIMA/JSA)

平成 19 年 2 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 計測計量技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	梶 村 皓 二	財団法人機械振興協会
(委員)	石 川 洋 一	社団法人日本電気計測器工業会
	石 崎 法 夫	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	市 原 裕	株式会社ニコン
	伊 藤 尚 美	社団法人日本計量機器工業連合会
	大 園 成 夫	東京電機大学
	岡 路 正 博	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
	河 野 嗣 男	東京都立科学技術大学名誉教授
	桜 井 康 好	環境省
	高 辻 乗 雄	日本精密測定機器工業会
	桧 野 良 穂	独立行政法人産業技術総合研究所
(専門委員)	福 永 敬 一	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 54.11.1 改正：平成 19.2.20

官 報 公 示：平成 19.2.20

原 案 作 成 者：社団法人日本画像情報マネジメント協会

(〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-1-3 和光ビル TEL 03-5821-7351)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：計測計量技術専門委員会 (委員長 梶村 皓二)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本画像情報マネジメント協会(JIIMA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 6001:1999** は改正され、この規格に置き換えられる。

改正に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 9923:1994, Micrographics—Transparent A6 microfiche—Image arrangements** を基礎として用いた。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

JIS Z 6001 には、次に示す附属書がある。

附属書 1 (参考) 定形こま及び可変分割こまのフォーマット

附属書 2 (参考) **JIS** と対応する国際規格との対比表

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 定義	2
4. マイクロフィッシュの基本的特性	2
4.1 物理的特性	2
4.2 見出し	3
4.3 こまの識別	4
4.4 裁断マーク	4
5. 49 こま及び 98 こまのフォーマット (文書用に多く使用される)	4
5.1 寸法及びこまの配置	4
5.2 マイクロフィッシュの余白	4
5.3 マイクロ像の配置及び向き	4
5.4 縮小率	5
5.5 試験標板	5
5.6 インデックスこま	5
5.7 大きな被写資料の撮影	5
5.8 シンボル	5
6. 63 こま, 208 こま, 270 こま及び 420 こまのフォーマット (COM 用に多く使用される)	6
6.1 寸法及びこまの配置	6
6.2 マイクロフィッシュの余白	6
6.3 マイクロ像の配置及び向き	6
6.4 縮小率	6
6.5 インデックスこま	6
7. 単一こまのフォーマット (地図及び大きな図面に多く使用される)	7
7.1 寸法	7
7.2 マイクロフィッシュの余白	7
8. 処理及び保存方法	7
9. マイクロフィッシュの可読性	7
9.1 文書用マイクロフィッシュ	7
9.2 計算機出力用マイクロフィッシュ	7
10. 濃度	7
附属書 1 (参考) 定形こま及び可変分割こまのフォーマット	14
附属書 2 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表	20
解 説	23

A6 判マイクロフィッシュ

Micrographics—Transparent A6 microfiche—Image arrangements

序文 この規格は、1994年に第1版として発行された **ISO 9923**, Micrographics—Transparent A6 microfiche—Image arrangements を元に、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書 2 (参考)** に示す。

1. 適用範囲 この規格は、国際間の情報交換、マイクロ出版などのために用いられる被写資料用及び計算機出力用の A6 判マイクロフィッシュについて規定する。

1.1 この規格は、1 こま、49 こま、63 こま、98 こま、208 こま、270 こま及び 420 こまのフォーマットのマイクロフィッシュに適用する。

1.2 マイクロフィッシュは、ネガ状又はポジ状のどちらでもよい。

備考 1. 30 こま、60 こま、84 こま、210 こま及び 325 こまのフォーマットのマイクロフィッシュ並びに可変分割形の 2 こま、4 こま、8 こま、16 こま、32 こま及び 64 こまのフォーマットのマイクロフィッシュについては**附属書 1 (参考)** に示す。

2. この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21** に基づき、IDT (一致している)、MOD (修正している)、NEQ (同等でない) とする。

ISO 9923:1994, Micrographics—Transparent A6 microfiche—Image arrangements (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版 (追補を含む。) を適用する。

JIS B 7186マイクロフィルムリーダ及びマイクロフィルムリーダプリンタ

JIS B 7187 16 mm 及び 35 mm 銀—ゼラチンマイクロフィルム撮影方法

備考 **ISO 6199:1991**, Micrographics—Microfilming of documents on 16 mm and 35 mm silver-gelatin type microfilm—Operating procedures からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS Z 6000 マイクログラフィックス用語

備考 **ISO 6196-1:1993**, Micrographics—Vocabulary—Part 1: General terms, **ISO/DIS 6196-3**, Micrographics—Vocabulary—Part 3: Film processing, **ISO 6196-4:1987**, Micrographics—Vocabulary—Part 4: Materials and packaging, **ISO 6196-5:1987**, Micrographics—Vocabulary—Part 5: Quality of images, legibility, inspection, **ISO 6196-6:1992**, Micrographics—Vocabulary—Part 6: Equipment 及び **ISO 6196-7:1992**, Micrographics—Vocabulary—Part 7: Computer micrographics からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。